

福山には

絶滅寸前の

淡水魚がいます。



種名:スイゲンゼニタナゴ

分類:コイ目 コイ科 バラタナゴ属

形態:全長3~5cmの小型のタナゴで、体側の^{えら}鰓ふたから尾びれにかけて伸びる青緑色の線があるのが特徴である。岡山県を中心に分布し、広島県では芦田川水系の水路や小河川でのみ生息が確認されている。

法指定:国内希少野生動物植物種, 指定野生生物種

絶滅危惧種選定:絶滅危惧 I A類 (環境省), 絶滅危惧 I 類 (広島県)

芦田川水系スイゲンゼニタナゴ保全地域協議会
(事務局:福山市環境保全課 ☎ (084)928-1072)
スイゲンゼニタナゴ保全活動をFacebookで発信しています。



あなたに知って欲しい三つのこと。

■スイゲンゼニタナゴの生態

繁殖期中の4月末から6月頃に、雄は婚姻色がもっとも鮮やかになります。

イシガイ、マツカサガイ等の二枚貝へ卵を産みつけ、稚魚は貝の中で孵化します。他の魚種では、あまり見られない特異な生態です。

自然環境下では、寿命は1年程度で、水深が比較的浅く、緩やかな流れを好みます。



雄（婚姻色）



雌



■スイゲンゼニタナゴの現状

スイゲンゼニタナゴの生息数は減少しており、危機的状況にあります。要因として、水田や水路の減少、水路整備・河床のコンクリート化による産卵のための二枚貝の減少、水際植生の減少、川の連続性が失われたことが考えられています。

また、一度の産卵数が少ないため、一度、生息数が減少すると元の数に戻りにくいことも要因と考えられています。

■保全活動を進めています

スイゲンゼニタナゴは「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」で“国内希少野生動植物種”に指定され、保護を図る必要がある種として位置付けられています。

スイゲンゼニタナゴの保全のために、2014年度（平成26年度）に地域住民、各種団体、有識者、行政機関等で構成される「芦田川水系スイゲンゼニタナゴ保全地域協議会」を設立しました。

外来種の駆除・生息域の整備やモニタリング調査、パトロール・水族館や大学、市内の学校でのスイゲンゼニタナゴ個体群の系統保存・各種イベントでの企画展示、地域での出前講座等による普及啓発活動を行っています。



今日、水路をそっと覗いてみませんか？